

平成21年度 第2回 鳥取大学経営協議会 議事要旨

日時 平成21年6月19日(金) 13:30~15:15
場所 事務局棟3階 第1会議室
出席者 安藤 賢、岡本 公男、柴田 英杞、長谷川 善一、古澤 巖、吉岡 秀樹、
能勢学長、若林理事、林理事、小林副学長、井藤副学長
の各委員
欠席者 平井 伸治、豊島病院長の各委員
[陪席者] 森本監事、本名理事、岩崎理事、若副学長、矢部地域学部長、
田中工学部長、中島農学部長

議事に先立ち学長から、第1回経営協議会は持ち回りでの開催で、実質的には今年度初めての会議であり、「中期目標・中期計画」、「業務実績報告」、「決算」等重要な議題が多いが、委員の皆様から様々な意見等を賜りたい旨挨拶があった。

議 題

1. 学長選考会議委員の推薦

若林理事から、国立大学法人法ならびに鳥取大学学長選考会議規則に基づき、経営協議会の学外委員の中から学長選考会議の委員6名を選出する必要があるとの説明があり、審議の結果、前期に引き続き、安藤賢氏、岡本公男氏、柴田英杞氏、長谷川善一氏、古澤巖氏、吉岡秀樹氏が選出された。

2. 第2期中期目標・中期計画の策定

小林副学長から、別冊資料Iに基づき、6月末までに文部科学省へ提出予定の「第2期中期目標・中期計画」(素案)については、「国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて」(平成21年6月5日付文部科学大臣通知)等を踏まえて検討した旨等説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、併せて中期目標・中期計画が策定されるまでの今後のスケジュール等についての説明があった。

3. 平成20年度年度決算

若林理事から、資料1に基づき、6月末までに文部科学省へ提出予定の「平成20年度決算」について、当期総利益が17億円発生し、そのうち現金の裏付けのある利益が4億7千万円となっている旨等の説明があり、審議の結果、原案ど

おり承認された。

4. 平成20年度業務実績報告

小林副学長から、別冊資料Ⅱに基づき、6月末までに文部科学省へ提出予定の「平成20年度に係る業務の実績に関する報告書」について、平成20年度においては、学長のリーダーシップに基づく教育改革、グローバルCOEプログラムに代表される本学の特色を活かした研究活動、ならびに研究成果を活用した社会との連携および国際交流活動について重点的に取り組んだこと等説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5. 平成22年度概算要求

若林理事から、資料2に基づき、平成22年度概算要求事項について、昨年度からの大きな変更点として、平成21年度まで「特別教育研究経費」という扱いであった事項が「特別経費」となり、大学の機能別分化に合わせた事業区分となったことを踏まえての要求である旨、また要求事業の内容についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報 告

1. 決算剰余金（目的積立金）会計予算に係る決算報告

若林理事から、資料3に基づき、決算剰余金（目的積立金）会計について、平成18年度決算までの剰余金8億円に、平成19年度決算の剰余金5億円を加え、動物病院整備事業等3億円の事業に使用したことから、10億円を平成21年度に繰り越す旨報告があった。

2. 法人化に伴う承継剰余金会計予算に係る決算報告

若林理事から、資料4に基づき、法人化以前から承継している訴訟に必要な経費について、平成20年度は該当がなかったため、平成21年度に繰り越す旨報告があった。

3. 平成20年度資金運用実績

若林理事から、資料5に基づき、平成20年度における国債、定期預金等での資金運用実績について、33百万円の運用利息があった旨報告があった。

4. 平成21年度補正予算

若林理事から、資料6に基づき、「経済危機対策」に係る平成21年度補正予

算について、設備整備については、教育研究環境の整備として14億円の事業が認められたこと、施設整備事業については、乾燥地研究センターの国際・アリド・ラボ、大学会館の太陽光発電設備が認められた旨報告があった。

最後に学長から、今年度も引き続き委員の皆様から様々なご意見、ご指導、ご協力を賜りたい旨挨拶があった。

以上